

認知症の方がいつまでも暮らせる
まちづくりを目指して
～大村市の挑戦～



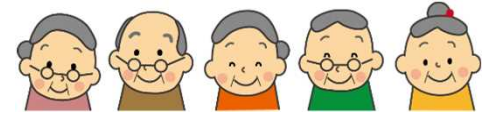
大村市福祉保健部長寿介護課

大村市



- 長崎県の中央に位置する
- 東には多良岳県立公園、西には大村湾を望む自然豊かな市
- 海上空港である長崎空港があり長崎県の玄関口
- 県内で唯一人口増加がみられる市
- 市花「おおむらざくら」八重桜を二段咲きをした独特の花
- 市マスコットキャラクター「おむらんちゃん」

■ 本市の高齢者人口の推移(見込)



	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019	2020	2025
総人口	92,758人	92,765人	92,771人	92,781人	92,789人	92,796人	92,266人
前期高齢者 65～74歳	11,019人	11,269人	11,517人	11,767人	12,015人	12,264人	11,443人
後期高齢者 75歳～	10,399人	10,639人	10,880人	11,119人	11,362人	11,601人	13,805人
高齢化率	23.09%	23.62%	24.14%	24.67%	25.19%	25.72%	27.36%

約2500人増加

国立社会保障・人口問題研究所が公表した資料による

大村市の認知症対策の対象者

平成30年6月現在

■ 認知症有病者数の推計

高齢者人口 23,207人 × 15%

3,481人

■ 軽度認知症 (MCI) 有病者数の推計

自立等高齢者数人口 19,726人 × 13%

2,564人



認知症やMCIの疑いがある人は…

6,045人

大村市における認知症施策の展開

認知症総合相談センター・認知症初期集中支援チーム設置

認知症ケアパス作成普及啓発

認知症支援リーダー養成研修の開催

高齢者等の見守りに関する他機関との連携強化

認知症サポーター養成講座の推進

若年性認知症に関する実態調査

認知症総合相談センターの開設 認知症初期集中支援チームの設置



大村市地域包括支援センターの中に 「認知症の相談窓口」ができました



H27年4月～

認知症
総合相談センター

- 認知症の相談を一元的に受ける窓口です



H27年10月～

認知症
初期集中支援チーム

- 認知症に関して、早期診断・早期対応に向けた支援体制をつくることを目的としています

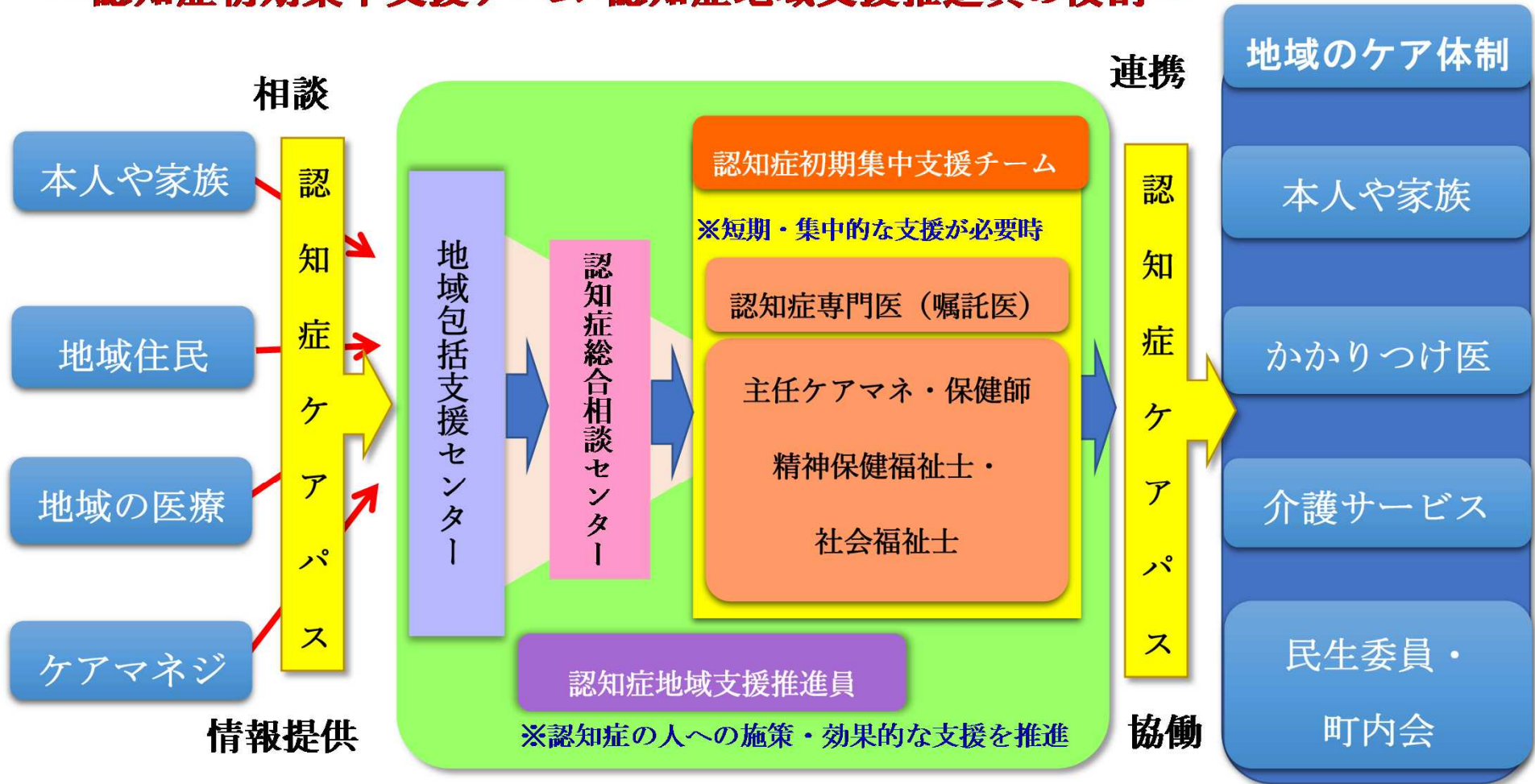


状況に応じて
初期集中支援チーム
が対応

認知症の相談についての連絡先) 0957 53-8141

認知症総合相談体制の構成図

～認知症初期集中支援チーム・認知症地域支援推進員の役割～



大村市あんしん相談 ガイドブック (認知症ケアパス)



平成30年度の認知症ケアパスについて

平成27年度 初版発行
「認知症ケアパス」として発行

大村市
認知症ケアパス



2,000冊

平成28年度 第2版発行

「認知症あんしん相談ガイドブック」へ

→ 地図や免許返納等の情報を追加

大村市
認知症あんしん相談
ガイドブック



3,000冊

平成30年度 第3版発行予定

現在、内容確認作業中

→ 疾患医療ST・警察情報(特殊詐欺等)



6,000冊

★介護保険改正の年度である3年1回改訂

～各機関のみなさんにお問い合わせ～

日頃より患者さんや利用者さん等に接する際、**認知症かも…**と思われる人や**認知症で何か困っている人**や**そのご家族**がいたら…

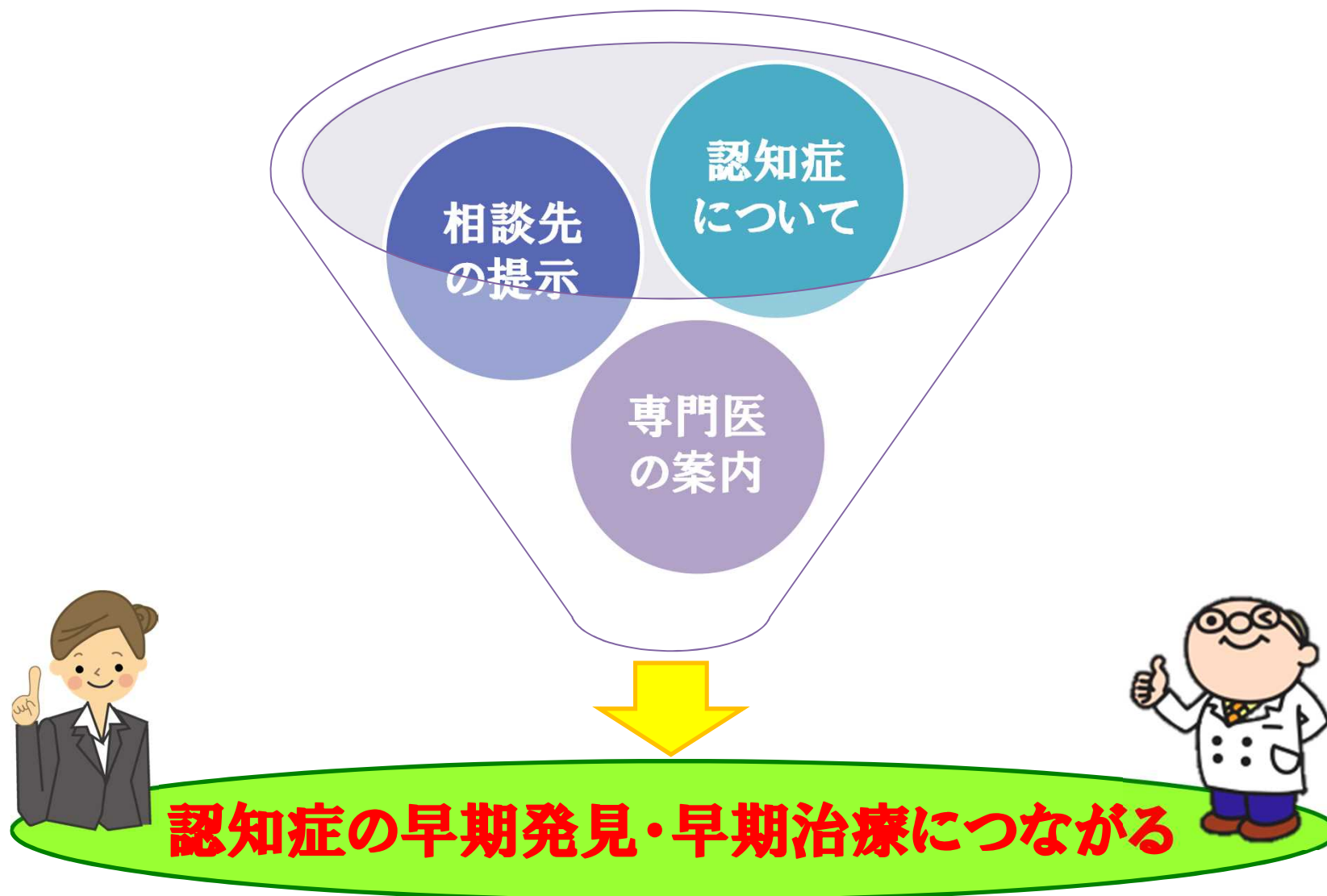


認知症あんしん相談ガイドブック

を用いながら、**必要なところに導いていただけ**たらと思います。



～各機関のみなさんにして欲しいこと～



認知症支援リーダー養成研修



認知症支援リーダー養成研修について

「認知症支援リーダー」とは…

“大村市”と“大村市医師会”が認定
する大村市独自の認定資格



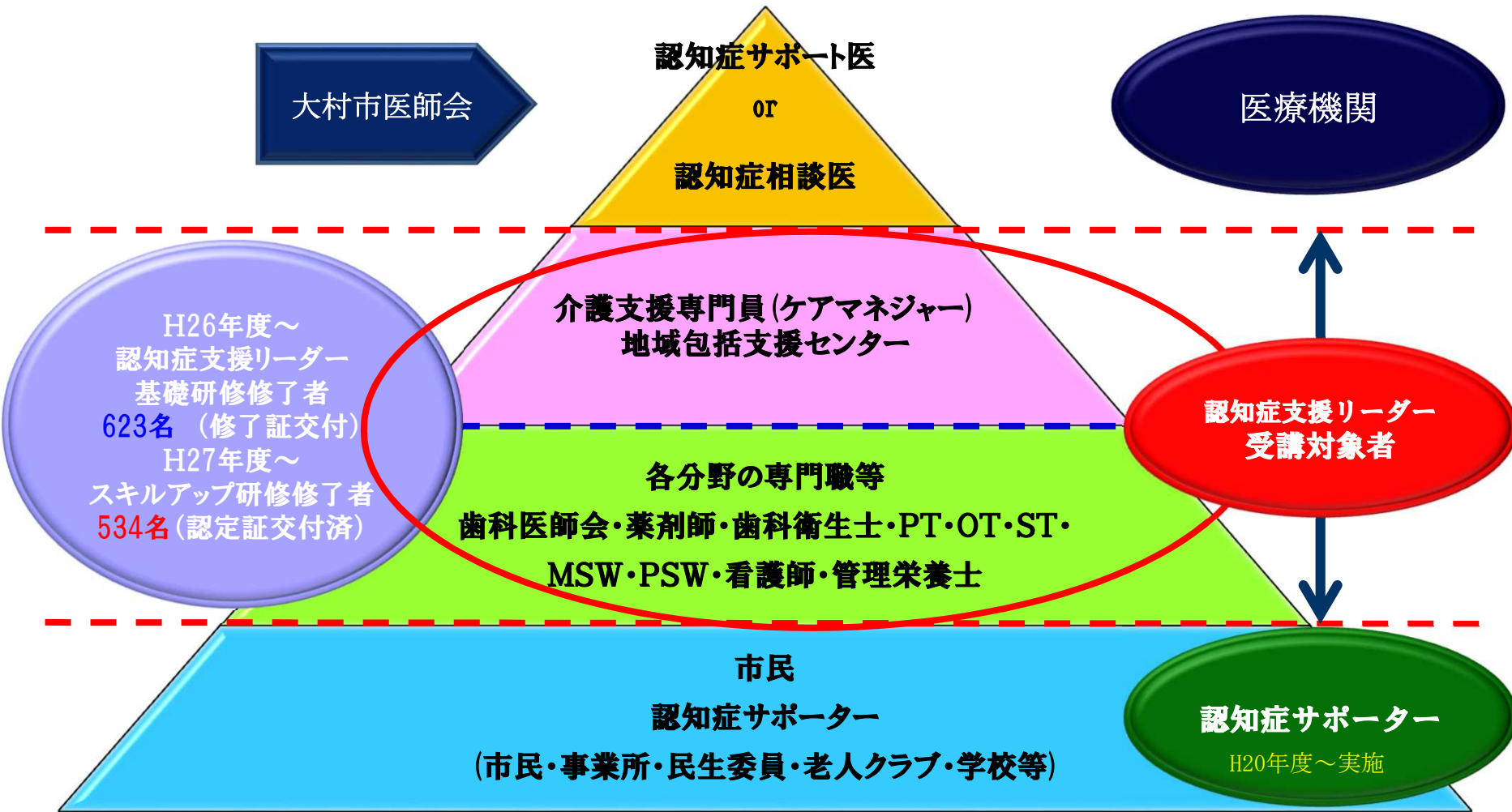
今後の認知症対策の中心を担う人材育成の掘り起し

＜ 認知症支援リーダーの役割＞

- かかりつけ医、認知症サポート医との連携強化
- 市民からの認知症に関する相談対応力の強化
- その他、市および医師会が実施する認知症施策への協力



大村市における「認知症支援リーダー」の位置づけ



講師陣と講義内容 講師) 認知症サポート医



中澤病院 認知症サポート医
医師) 中澤 和嘉 (認知症専門医)
(認知症初期集中支援チーム嘱託医)



うえだ内科・脳神経内科クリニック 認知症サポート医
医師) 中田 るか (認知症専門医)



伊崎脳神経外科内科 認知症サポート医
医師) 伊崎 明 (認知症専門医)



うえき心療内科 認知症サポート医
医師) 植木 健



おおむら海辺のクリニック 認知症サポート医
医師) 遠山 啓亮



たなか循環器内科 認知症サポート医
医師) 田中 協栄

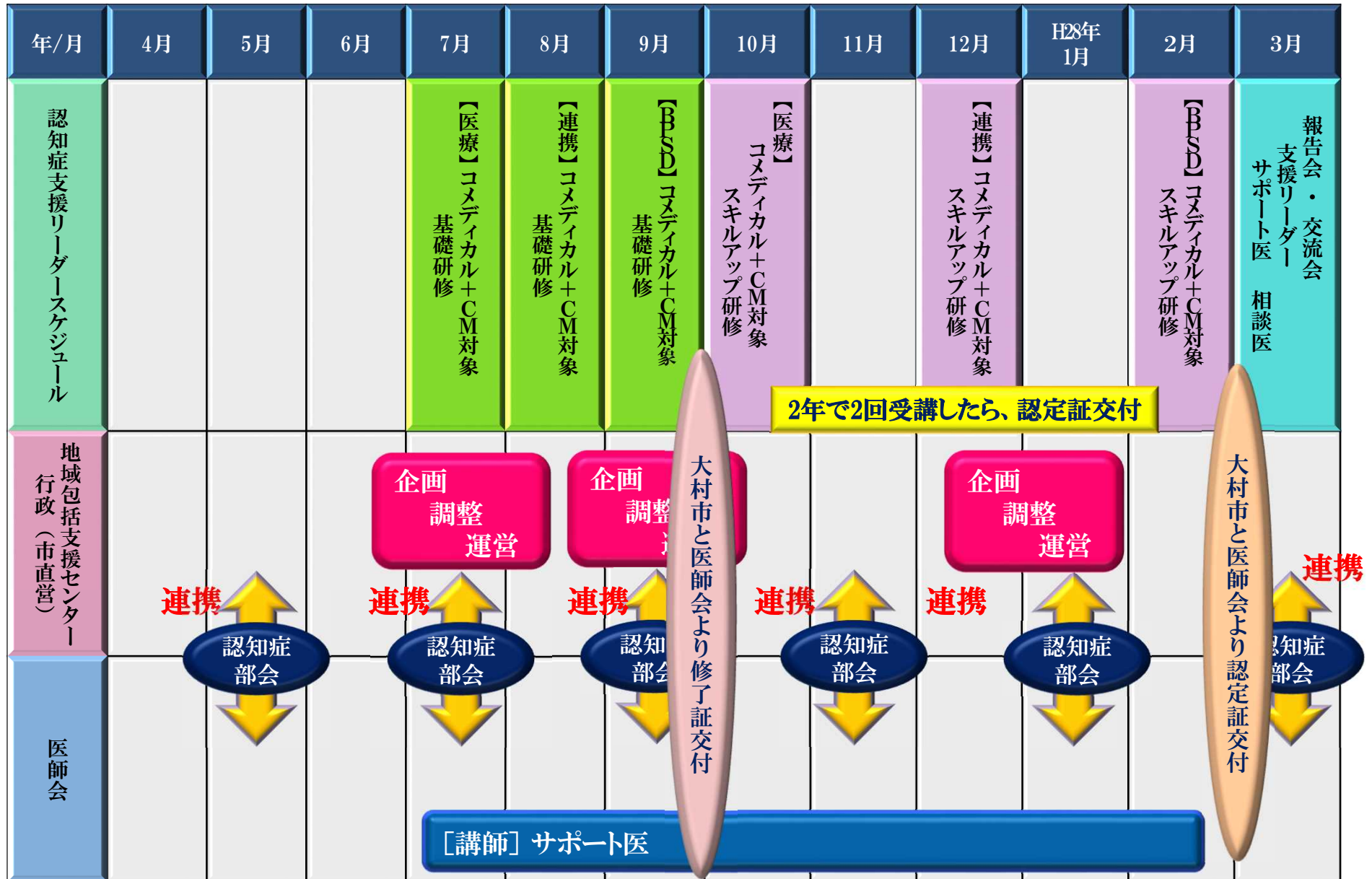


はら脳神経外科 認知症サポート医
医師) 原 真弥



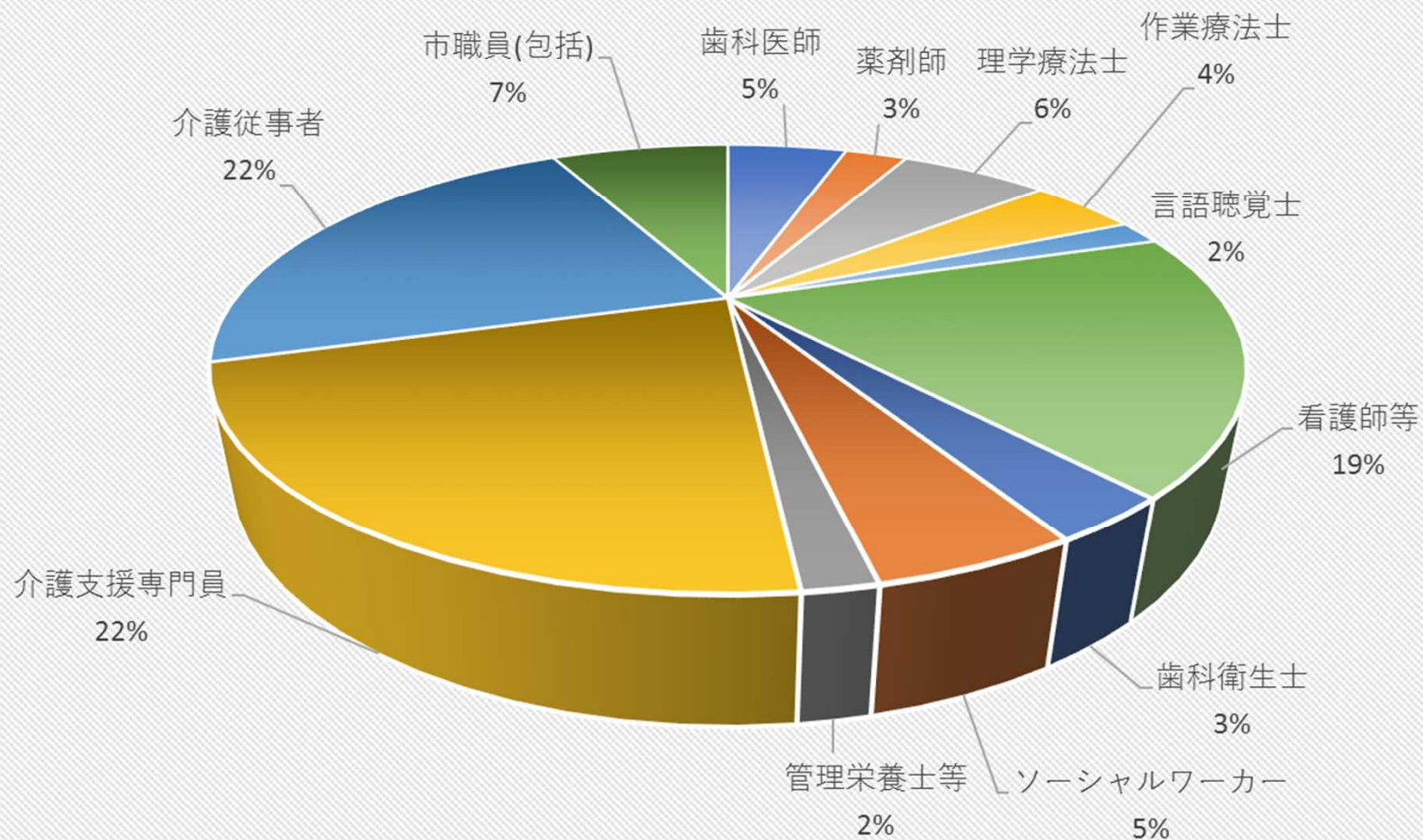
山下外科医院 認知症サポート医
医師) 山下 直宏

大村市認知症支援リーダー養成研修(基礎研修・スキルアップ研修)

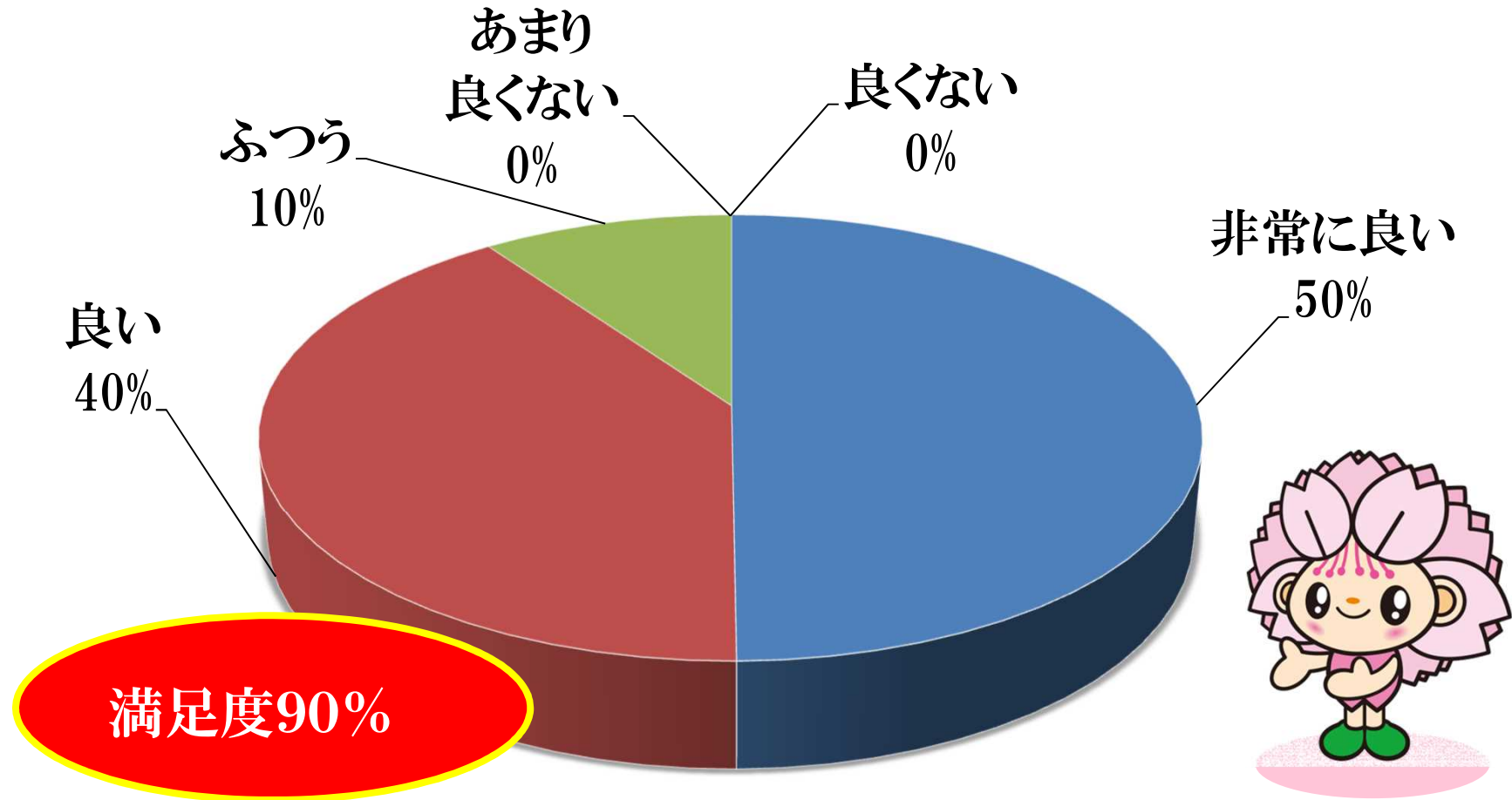


H26～H29年度基礎研修修了者内訳

H26～H29年度基礎研修修了者数（人）



これまでの認知症支援リーダー(基礎研修)の 総合評価



■ 非常に良い ■ 良い ■ ふつう ■ あまり良くない ■良くない

「スキルアップ研修」の意義



“認知症支援リーダー養成研修基礎研修課程を修了し、大村市と大村市医師会から「修了証」を取得された者。

【コンセプト】

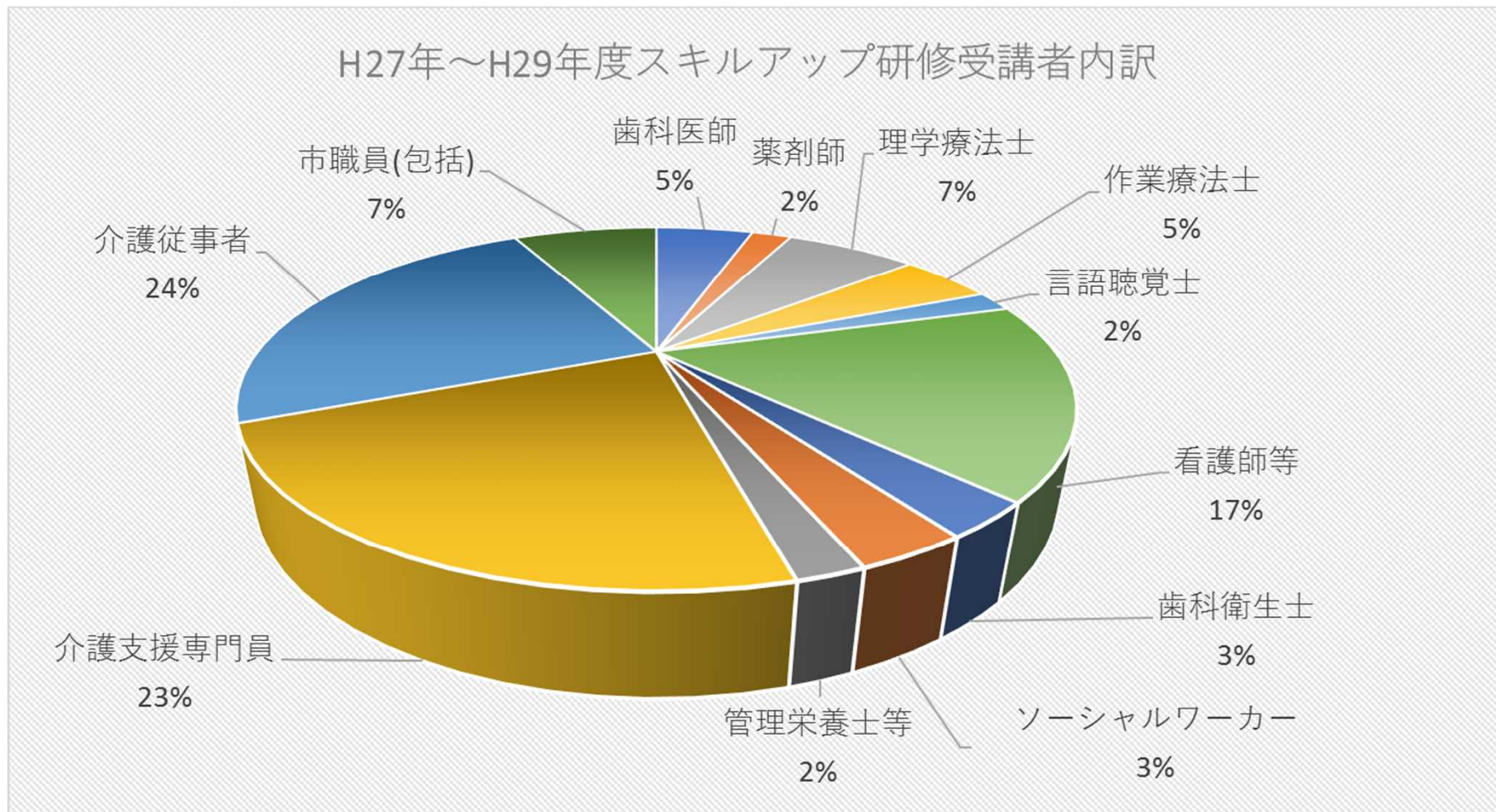
今後の大村市の認知症施策の中心を担う、リーダー的存在となる人材を育成することを目的とする。

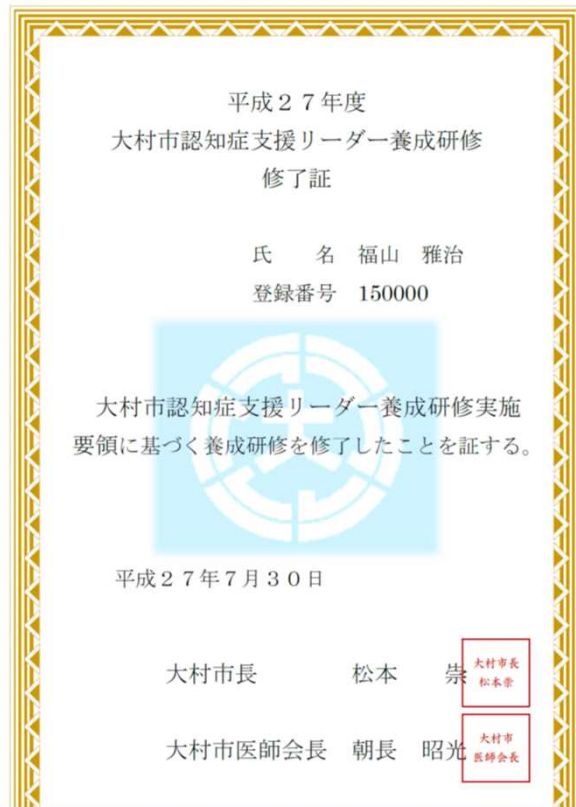
◆ 2年間で“スキルアップ研修”を2回受講すると…

- ①大村市と大村市医師会『認定証』
②『認定証』を取得された方の所属する事業所にはステッカーを交付



H27～H29年度スキルアップ研修修了者内訳





＜基礎研修＞
3回/1クール受講→認定証書交付

平成26～29年度
基礎研修修了し
「修了証書」交付予定の者
623名



＜スキルアップ研修＞
2年で2回受講→認定証書交付

平成27～29年度
スキルアップ研修修了し
「認定証」交付予定の者
534名



支援リーダーが所属する
事業所にステッカーを配布



認知症支援リーダーの今後について

- 認知症支援リーダー養成研修をスタートし今年度で5年目…
- 市内の医療・介護の専門職を網羅したこととなる

<次年度以降について> (案)

- 各地域に「**認知症ボランティアホットライン**」を設置予定
“**認知症支援リーダー取得者**”に「**地域のホットラインの窓口**」として活躍してもらう等を計画している
→ 今年度、各事業所(機関)へ**協力に関する意思確認の調査**を現在“**実施中**”



認知症ボランティアホットライン活動 フロー図+



地域の人が気軽に相談に立ち寄れる場所 = 認知症ボランティアホットライン

認知症ボランティアホットラインとなった機関や事業所に所属するスタッフが...

✓ 関わる地域の中で、地域の方等から「もしかして認知症？」と思われる相談を受けた場合



認知症ボランティアホットラインとなった機関や事業所に所属する 認知症支援リーダーが 相談対応



状況に応じて繋いでいく 「つなぐ」役割

情報提供 ↓

必要時

【医療機関】

- かかりつけ医 (認知症相談医等)
- 認知症サポート医
- 認知症専門医

連携していきましょう!

情報提供 ↓

報告 ↑

大村市地域包括支援センター
認知症総合相談センター
認知症初期集中支援チーム
電話 0957-53-8141
24時間 365日 連絡可

包括じゃない
ください

情報提供 ↓

報告 ↑

居宅介護支援事業所
居宅のケアマネジャーのいる事業所

緊急時通報 ↓

大村警察署
110番
電話 0957-54-0110

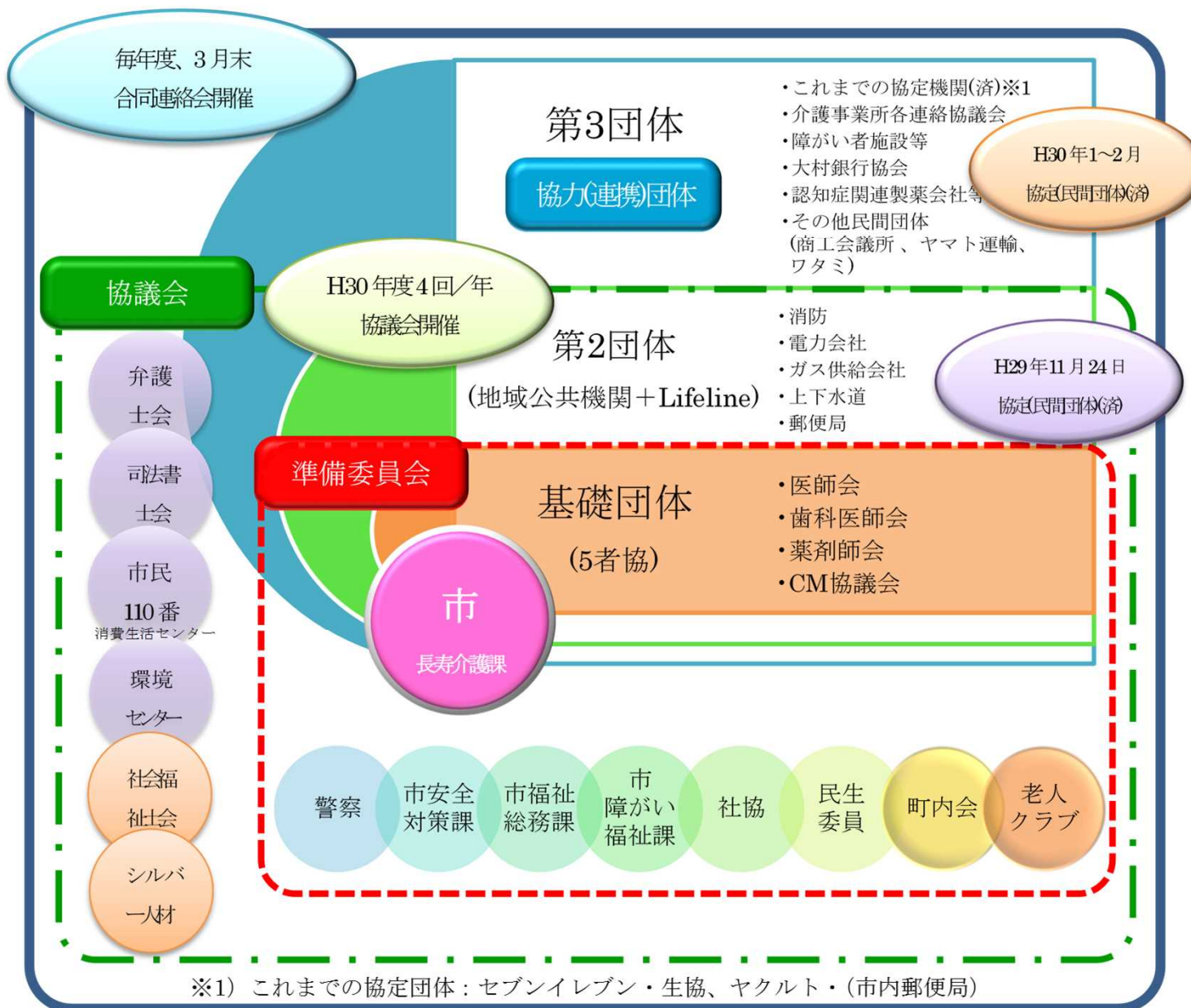
大村消防署
119番
電話 0957-52-4138

高齢者に関する他の機関との連携



高齢者等見守りネットワーク構成団体

【構想図】



高齢者見守りネットワーク活動の推進に向けた 包括的連携に関する協定 (平成28年10月27日)



薬剤師会

医師会

大村市

歯科医師会

介護支援専門員
連絡協議会

大村市高齢社会総合対策ネットワークに 関する協定 (平成28年6月10日)

高齢者の交通安全対策をはじめ犯罪被害や認知症
見守り対策等、幅広い内容で連携強化を図る

大村
警察署



大村市

高齢者等見守りネットワークに関する動き

① 見守りネットワーク協議会

平成23年度発足→平成29年度再構築

24団体

② 協定団体

徘徊SOS搜索協力団体

平成27年度～連携協定締結

11団体

③ 協定団体

日頃の見守り対応

平成29年度～連携協定締結

4団体

④ 認知症の理解促進

行政・医療・介護連携支援・地域づくり促進支援

平成29年度～連携協定締結

6団体

ライフライン

協定団体

介護・障がい

～徘徊SOS捜索協力団体～

活動内容

- ・ 行方不明発生時の捜索活動への協力
- ・ 日頃の業務で、異変察知時の情報提供



九州電力・九州ガス



各介護事業者連絡協議会
障がい者施設ネットワーク協議会

徘徊SOSネットワークへの協力団体

～大村市と連携協定を締結した団体～

平成27年・平成28年度

- セブンイレブン
- 大村市内郵便局
- 生協ララコープ
- 長崎ヤクルト



平成29年度

- 九州電力
- 九州ガス
- 大村市訪問介護事業者連絡協議会
- 大村市通所介護事業者連絡協議会
- 大村市認知症グループホーム連絡協議会
- 大村市看護・小規模多機能型居宅介護連絡協議会
- 大村市障がい者施設ネットワーク協議会

徘徊SOS協力団体に際しお願いしていること

1) 認知症による「徘徊高齢者」の搜索活動に
対する協力に関すること

営業活動に支障の
ない範囲で良いです

2) 独居高齢者等の「安否確認」に関すること

3) 認知症サポーター養成に関すること

4) その他、認知症対策の普及啓発に関すること



徘徊SOSネットワーク登録者について

登録年度	登録者数
平成27年度	4名
平成28年度	17名
平成29年度	19名
平成30年度 (4/1～7/31現在)	8名
合計	49名

- 平成27年4月からの登録者数
49名 (H30.7月末現在)

上記のうち・・・

- 入所や転居 → 10名
- 死亡 → 3名
- 徘徊捜索稼働回数 → 9回



警察と連携

民間団体

協定団体 ～日頃の見守り対応～

活動内容 ・ 日頃の業務で、異変察知時の情報提供



大村銀行協会、大村商工会議所
ヤマト運輸(株)、ワタミ(株)

製薬会社

認知症の理解促進 行政・医療・介護連携支援 地域づくり促進支援

活動内容

- ・ 医療介護の専門職への研修会（認知症関連）
- ・ 行政医療介護等の関係機関の連携強化支援

全国初！



認知症関連製薬会社（6社）

認知症関連製薬会社 6社



連携協定での効果 ～自治体としてのメリット～

行政・医療等の関係機関の連携強化に関する協力



- ⑩ 製薬会社が実施する認知症関連の研修会への参加
- ⑩ → **医療機関との情報交換の場**

医療・介護等の専門職への認知症に関する情報提供



- ⑩ 認知症支援に関わる医療・介護の専門職のレベルアップのための研修への協力 → **専門職対象の研修への協力「認知症支援リーダー養成研修」等**

認知症に対する理解推進及び意識啓発に関する協力

- ⑩ 認知症に関する市民への情報提供への協力
 - ① **相談時に使用する冊子等の提供**
 - ② **認知症出前講座で使用する冊子提供**



認知症サポーター養成講座



「認知症サポーター養成」について

～「認知症サポーター」とは～

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人やその家族に対して、できる範囲での手助けをする人のことです。

※国の認知症施策の中に「認知症サポーター養成」の推進が大きくうたっています。
大村市も同様の考えのもと「認知症サポーター養成」を推奨しています。

《認知症サポーター養成講座》

実施主体) 都道府県・市町村・職域団体等

対象者) <住民>自治体・老人クラブ・民生委員・家族会・防災防犯組織等
<職域>企業・銀行等金融機関・消防・警察・スーパーマーケット
コンビニエンスストア・宅配業・公共交通機関等
<学校>小中高等学校・教職員・PTA等



<連絡先>

大村市地域包括支援センター

53-8141
20-7308



大村市の認知症サポーター養成講座実績

対象団体	職域・事業者	一般市民	次世代	合計
平成26年度	199名	55名	42名	296名
平成27年度	929名	469名	57名	1,455名
平成28年度	718名	180名	354名	1,252名
平成29年度	368名	100名	657名	1,125名



平成29年4月から平成30年3月末で、
1,125名
平成20年度から平成30年3月末時点
合計：6,219名



平成29年度認知症サポーター養成講座

<推進に向けてのテーマ>

次世代に向けてのアプローチ(人材育成)



<アプローチ先>

■次世代へのアプローチ

- ①小中学校 学校内：三城小5年生、郡中学校
学校外：中央小学校（健全教主催）
- ②高校関係 大村城南高等学校(福祉系選択者)
大村高等学校(家政科 医療福祉系選択者)
向陽高等学校福祉学科

- ③各医療系大学および専門学校
 - ・活水女子大学 看護学部
 - ・長崎リハビリテーション学院
 - ・向陽学園 看護専攻科
 - ・大村市医師会看護専修高等学校



これまでの認知症サポーター養成講座

<公共機関 等>

- 長崎県警察本部 交通運転免許管理課
- 長崎県大村警察署
- 大村市交通指導
- 大村市消防団
- 大村市内郵便局



大村市高齢社会総合対策ネットワークに 関する協定 (平成28年6月10日)

高齢者の交通安全対策をはじめ犯罪被害や認知症
見守り対策等、幅広い内容で連携強化を図る

大村
警察署



大村市

大村警察署での講座の様子



消防団の方々も受講しました



市長が 認知症サポーターとなりました！



平成30年度認知症サポーター養成講座

<推進に向けてのテーマ>

次世代に向けてのアプローチ(人材育成)

■次世代へのアプローチ

①各小中学校（校内、校外含め）での開催

②各高等学校での開催

③各医療系大学および専門学校

- ・活水女子大学 看護学部
- ・向陽学園 看護専攻科 他



中学生が紙芝居を描いてくれました！

次世代への普及啓発を実施する中で、子ども達に、より分かりやすく興味を示す手段として、紙芝居を作成。その紙芝居の絵を子ども達自身に書いてもらいました。

協力いただいた学校：桜が原中学校
美術部の生徒さん達 約20名



「健康福祉まつり」でお披露目をしました！

次世代向け認知症サポーター養成講座の様子



三城小学校5年生



中央小学校 健全協



紙芝居



市民公開講座(次世代向け)



松原寺子屋塾

認知症サロン(カフェ)
～おおむら桜～



サロン おおむら桜♪



高齢者の方や認知症の方
そのご家族がホッと過ごせる
場所として、
認知症サロンを始めました。
ぜひお立ち寄りください

利用無料です



【場所：旧浜屋ビル2階（本町458番地2）】

若年性認知症に関する実態把握



若年性認知症当事者への実態把握に関する調査について

- 若年性認知症者数（推計）

全国 : 37,800人

長崎県 : 350人

大村市 : 26人

推計値



□大村市でも若年性認知症を行政としてどうしていくか、地域としてどう支えていくかを考えなければならない。→ **「実態調査の実施」**



★平成29年度、「一次調査」開始
平成30年度、「二次調査」予定

大村市版若年性認知症実態調査

【一次調査】

- ✓ 対象 3大病院：医療ST、精神医療ST、市民病院
医師会：78医療機関 **81医療機関**
- 回収率 100% (平成30年1月～平成30年2月)
- ✓ 結果 若年性認知症数(変性疾患、脳血管疾患)：21名

【二次調査】

- ✓ 対象 二次調査の協力を得た方：8名
- ✓ 期間 平成30年4月～7月予定
- 医療機関の相談員に協力をしていただき実施中

- 目的
- ①当事者の方についての実態を知る。
 - ②何に困りどの様な支援が必要かを知る。

地域包括ケアシステム

高齢者が住み慣れた地域で、生活を継続できるようにするために、**介護・医療・予防・生活支援・住まい**を充実させるシステム。



地域決着型

「住み慣れた地域で
みんなが支える
まちづくり」

